

事務事業評価票

所管部長等名	企画戦略部長 永原 辰秋
所管課・係名	秘書課 秘書・国際交流係
課長名	桑原 真澄

評価対象年度	平成23年度
--------	--------

(Plan) 事務事業の計画

事務事業名	北海市交流事業	「主なる事業の執行状況調」における件名又は事業名	北海市交流事業	
会計区分	一般会計			
予算の事業名	北海市交流事業			
事業コード(大-中-小)	64	01	03	
施策の体系 (八代市総合計画の実施計画における位置づけ)	基本目標(章)	市民と行政がともに歩むために		
	施策の大綱(節)【政策】	②協働によるまちづくりの推進		
	施策の展開(項)【施策】	②市民参画の推進		
	具体的な施策と内容	(1)市民参画の環境づくり		
根拠法令、要綱等	北海市と八代市との「友好都市関係の締結に関する協定書」を継続することの確認書			
実施手法 (該当欄を●)	<input checked="" type="radio"/> 全部直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> その他()	法令による実施義務 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 義務である <input checked="" type="radio"/> 義務ではない	
事業期間	開始年度	合併前	終了年度	未定

(Do) 事務事業の実施

事務事業の概要	目的	対象(誰・何を) 市民(交流の目的や内容が毎年変わることから、特に特定できない)	成果目標(どのような効果をもたらしたいのか) 両市の経済交流の可能性を探り、地域の経済活性化に寄与する。また、両市民の相互理解と親善を深め、八代市市民の交際交流についての関心を高め、国際感覚の涵養を図る。
	内容 (手段、手法等)	平成8年に友好都市を提携した中国北海市との友好交流流を図る。 具体的には、「北海市経済代表団」の受入れ及び「2012中国広西国際友好都市交流大会」参加に伴う市代表团4名を派遣する。また、青少年の国際感覚を育てるため、中学生15名による「中学生友好派遣団」を編成し、現地中学生や市民と交流する。	
事業開始時点からこれまでの状況変化等	平成22年度の「市民事業仕分け」において、北海市との交流は、「市民協働のもとでもっと経済交流を目指すべき」との指摘があり、平成23年度は、市内経済人を主体とした視察団を編成し、総勢15名で友好都市北海市へ派遣した。しかし、直ちに両市の経済発展に結びつく具体的な交流は、困難との見解もある中、市議会(平成23年9月)からは、国際感豊かな人材の育成のための青少年交流や平成28年には友好20周年を迎えることから、一般市民を対象とした「市民友好の翼」を編成し、更なる友好が必要との意見があった。		

コスト・成果指標の推移

		単位	22年度決算	23年度決算	24年度予算	25年度見込	26年度見込	27年度見込	
コスト	総事業費	千円	5,250	6,412	8,573	8,550	8,550	8,550	
	事業費(直接経費)	千円	1,400	2,562	4,023	4,000	4,000	4,000	
	財源内訳	国・県支出金	千円						
		使用料・手数料	千円						
		市債	千円						
		その他()	千円						
	一般財源	千円	1,400	2,562	4,023	4,000	4,000	4,000	
概算人件費(正規職員)	千円	3,850	3,850	4,550	4,550	4,550	4,550		
正規職員	従事者数	人	0.55	0.55	0.65	0.65	0.65	0.65	
	臨時職員等従事者数	人							
(もたらそうとする効果の数値化)	指標名	指標設定の考え方	単位	22年度実績	23年度実績	24年度見込	25年度計画	26年度計画	27年度計画
	① 訪問交流人数	※「友好都市関係の締結に関する協定書」に基づく	人	11	15	15	15	15	15
	② 受入交流人数	※「友好都市関係の締結に関する協定書」に基づく	人	0	18	15	15	15	15
(記述欄)※数値化できない場合 ・交流事業は、それぞれの市において、その年ごとに交流主体の目的を定めて訪問団を編成し、その目的に応じ、対象者や人数を決定している。よって、今後の交流主体の目的が決定していないので、訪問・受入交流の人数の目標値を設定することもできない。また、訪問・受入れの交流人数が成果を現すものではないと考える。									

(Check) 事務事業の自己評価

事業実施の 妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	A 結びつく B 一部結びつく C 結びつかない	B	(現状分析等) ・中国は、以降10数年の経済発展に伴い、都市規模が拡大し、一人 当たりの所得も相当増えている。 ・その中で、北海市は、中国とアセアン諸国と結ぶ交通の要衝という 優れた地理位置にあり、これからより一層急速な発展が期待できる ポテンシャルの高い都市と見込まれている。
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化によ り、事業の役割が薄れていませんか	A 薄れていない B 少し薄れている C 薄れている	B	・このような中、これまでに培った北海市とのネットワークを活かし、 現地の富裕層をターゲットとした訪日ツアーやビザが免除された修 学旅行を誘致することで、八代地域観光の活性化が期待できる。 ・特に、両市ともに港湾都市であるという利点を活かし、将来、港を利用 した交流が期待できる。
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当 ですか(国・県・民間と競合していませ んか)	A 妥当である B あまり妥当でない C 妥当でない	A	・この草の根レベルの国際交流を通じて、本市の海外への発信につ ながり、また、良好な日中関係にプラスの影響を与えることになる。
活動内容の 有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移し ていますか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	B	(現状分析等) ・両国の制度や習慣等が異なり、「日本流の直ぐに結果を求めるやり 方」では交流を進めることは難しく、長い視点で相互交流を深めてい かなければならない。
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見 直す余地はありますか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	B	・特に将来を担う中高校生の交流は、国際感豊かな人材の育成のた めに有効な手段と考える。
実施方法の 効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削 減することは可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A	(現状分析等) ・八代市と中国北海市が地理的に離れているため、行き来の交流の 実施には時間と経費がかかる。(5泊6日112千円/人) ・今後も継続して実施するには、次世代を担う青少年の交流などが 有効な手段と考える。
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A	・中高生の友好派遣については、受益者負担の引き上げを検討する ものの、経済的事情での不参加も考えられるので、そのバランスに 苦慮している。(個人負担22千円/人)
	③	【人件費の見直し】 非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費の削減は可能です か	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A	
	④	【受益者負担の適正化】 受益者負担に見直しの余地はありま すか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止)	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	B	

(Action) 事務事業の方向性と改革改善

今後の方向性 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 不要(廃止) <input type="radio"/> 民間実施 <input checked="" type="radio"/> 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) <input type="radio"/> 市による実施(要改善) <input type="radio"/> 市による実施(現行どおり) <input type="radio"/> 市による実施(規模拡充)	(今後の方向性の理由) ・本市の経済発展を見据え、定期的に経済交流視察団を派遣し、経済交流の糸口を探りたい。 また、人的交流を深めるためにも、市民協働による市民レベルの交流を実施したい。																					
改革改善内容	今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 ・北海市がアセアン諸国を巻き込み、大躍進している今、友好交流は継続し、八代の飛躍 にどう繋げるかを模索する必要がある。また、熊本県も広西壮族自治区との30周年を迎 え、南寧市に県の事務所を設置する予定で、ASEANを視野に入れた対中国戦略を展開し ている。そのような中、県や本市経済界とも連携し、経済交流を活性化させるとともに、市 民協働による市民交流を活発化し、人的結び付きをより深め、本市の経済発展に結び付 けたい。	改革改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td align="center">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						

外部評価の実施	有：外部評価(市民事業仕分け)	実施年度	平成22年度
---------	-----------------	------	--------

決算審査特別 委員会における 意見等	(委員からの意見等)
--------------------------	------------